

未来を、仕掛ける。



Finding the right solution, just for you

2021年3月期 第2四半期
決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

目次

1. 業績ハイライト P - 0 3

2. JASTグループの概要 P - 0 6

3. JASTグループの特長 P - 0 8

4. 2021年3月期 第2四半期の業績分析 P - 1 7

5. 今後の計画・方針 P - 2 8

1. 業績ハイライト

1 - 1. 連結業績

		2019年3月期 2Q累計実績	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	前年比
売上高	(百万円)	8,024	8,610	8,042	93.4%
売上総利益	(百万円)	1,705 21.2%	1,914 22.2%	1,775 22.1%	92.7%
営業利益	(百万円)	263 3.3%	190 2.2%	23 0.3%	12.1%
経常利益	(百万円)	280 3.5%	202 2.3%	58 0.7%	28.7%
当期純利益	(百万円)	175 2.2%	△ 552 -6.4%	△ 309 -3.8%	－
一株当たり当期純利益	(円)	33.45	△ 104.18	△ 57.71	－
総資産	(百万円)	13,116	12,308	12,250	99.5%
純資産	(百万円)	6,246	5,683	5,808	102.2%
自己資本比率	(%)	47.3	45.9	47.1	+1.2
自己資本利益率	(%)	2.8	△ 9.8	△ 5.3	+4.5
従業員数	(人)	982	1,168	1,261	+93

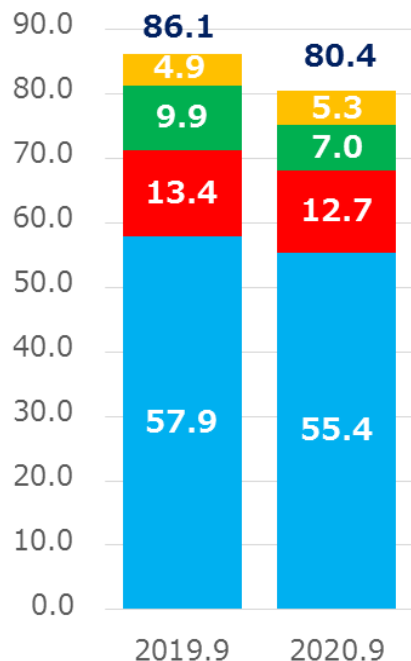
* %数値は各々の利益率及び前年対比を表します。

1. 業績ハイライト

1 - 2. 事業別ダイジェスト

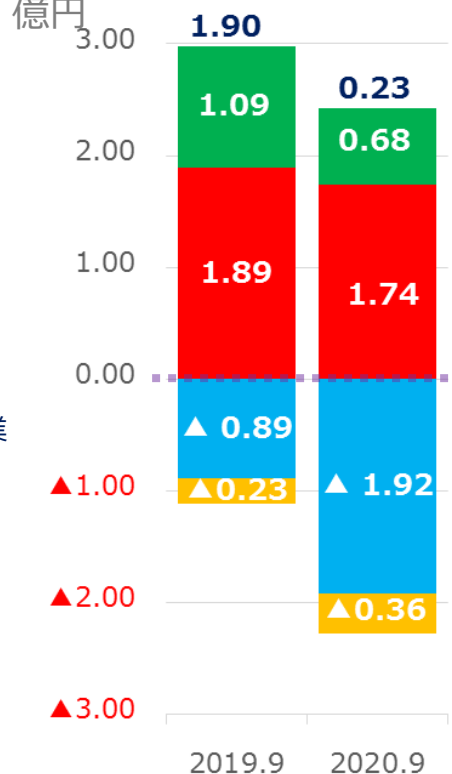
売上高

億円



営業利益

億円



- ◆ソフトウェア事業 : 金融・保険・証券業向け案件等が好調の一方、サービス・流通業/製造業/通信業の軟調により減収
- ◆GAKUEN事業 : 大学向けPP（プログラムプロダクト）販売が前年を上回ったものの、仕入販売/導入支援等の前期大幅増収の反動により減収減益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件が前年を下回り減収減益
- ◆医療ビッグデータ事業 : 保険者向け支援サービスの好調により増収、一方、研究開発費のコスト増により損失幅が前年比で微増

1. 業績ハイライト

1 - 3. 最近のトピックス

のれん等の減損損失計上（2020年9月）

* 連結子会社AG NET PTE.LTD. の業績低迷により、株式取得時に発生したのれん等について、当第2四半期で減損損失（3.1億円）を計上。

ソフトウェア事業

- * タレントマネジメントサービス「mieHR」提供開始（2020年11月）
- * 「EC サイト構築支援サービス」開始（2020年6月）

GAKUEN事業

- * GAKUEN サブスクリプション販売開始（2020年9月）
- * GAKUEN シリーズ 導入実績 400 校突破（2020年5月）
- * 新製品「GAKUEN R X」販売開始（2020年4月）
- * 新型コロナウイルス感染症拡大に向けたe-ラーニング学習支援システム「UNIVERSAL PASSPORT」半年間無償提供（2020年4月～9月）

医療ビッグデータ事業

- * 慶應義塾大学および理化学研究所との新型コロナウイルスに関する共同研究開始（2020年11月）
- * 「J M I C S サービス」における保険者業務支援システム『 i B s s 』リリース（2020年10月）

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

東証1部 略称JAST（ジャスト） 証券コード4323

設 立	1973年〔昭和48年〕3月
資本金	10億7,666万円〔2020年3月末現在〕
系 列	なし〔完全独立系〕
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー28・29階
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル5・26・27階
代表者	代表取締役社長 平林 武昭

単位：百万円

2020年3月期の業績

	連結	単体
売上高	18,019	14,427
営業利益	970	1,013
経常利益	1,021	1,121
当期純利益	△ 30	21
従業員数（人）	1,164	753

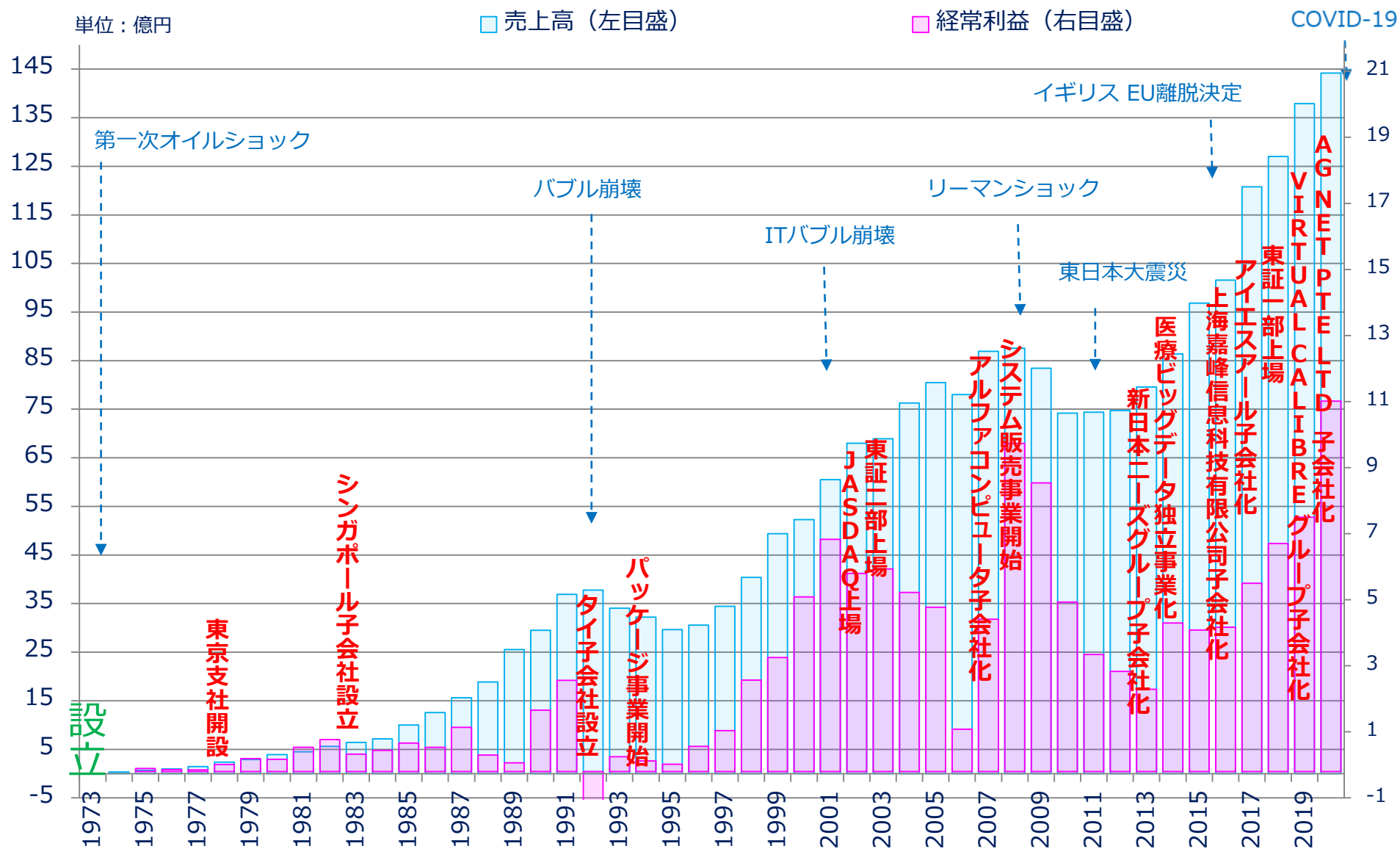
各種資格

- ◆ プライバシーマーク認定
 - ◆ ISO9001 登録事業者
 - ◆ ISO14001 登録事業者
 - ◆ ISO27001 登録事業者
 - ◆ ISO20000 登録事業者（※）
- ※同社ヘルスケアバージョン事業部で登録

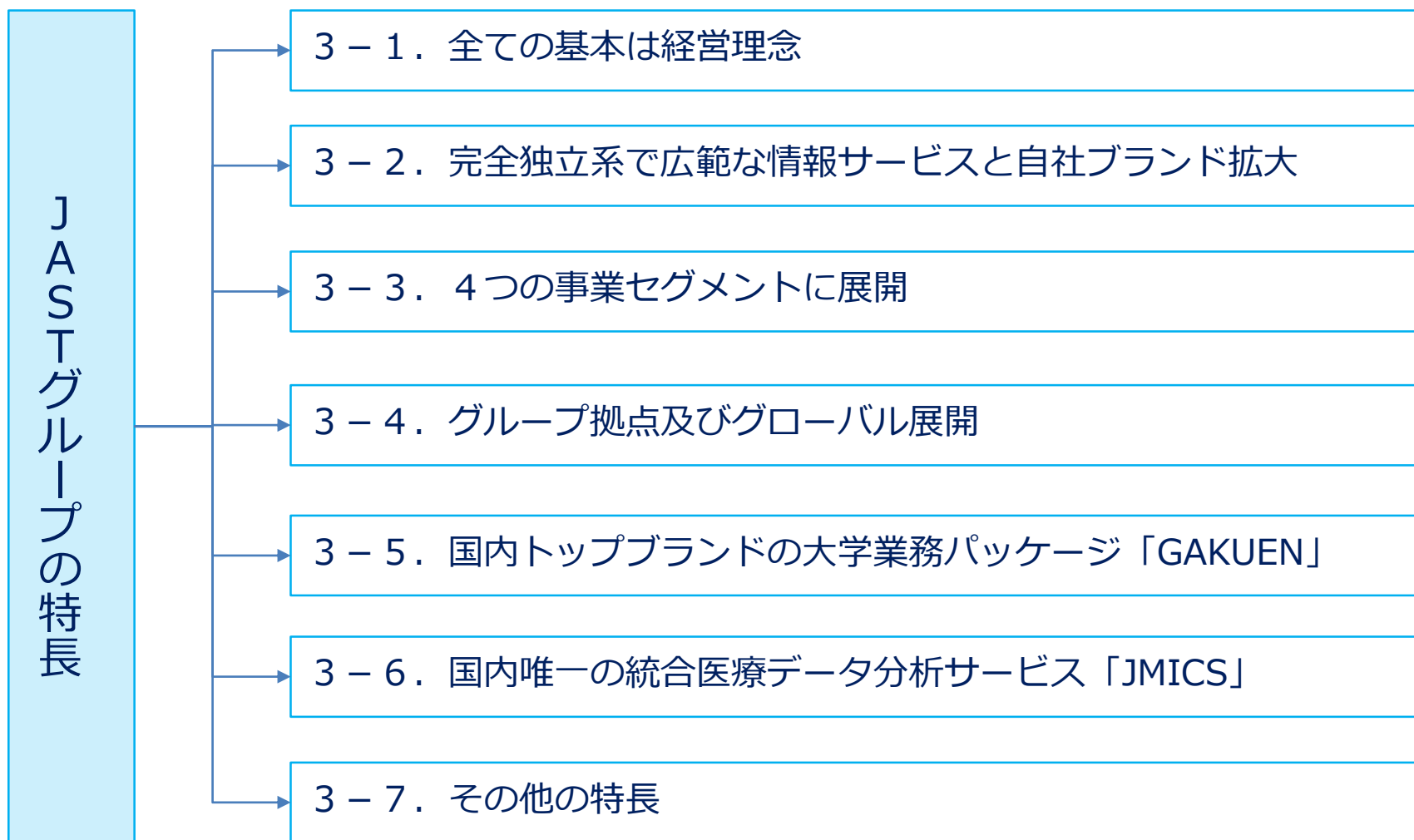


* 連結子会社12社〔東京・大阪・シンガポール・タイ・マレーシア・中国〕

* 2020年9月末現在の従業員数（連結）1,261名



3. JASTグループの特長



「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーとして、いかなる企業系列にも属さない**完全独立系**の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、**自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組む**ことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、**お客様、株主、社員、社会**がそれぞれwin-win（双方有益）の関係を築くべく、「**四方良し**」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、**安定的成長を実現する**ことを目標としております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「**人づくり**」**経営に徹する**こととしております。

～ 経営理念の基本的な考え方 ～

天爵を修めて人爵これに従う

「天爵」とは、人として不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めていくことで、尊敬され信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位を意味し、「人爵」とは、業績や経験に基づき団体や上司から人為的・便宜的に与えられた外見上の位階を指しています。

天爵を修めることに努め、結果として自ずと人爵を与えられるのが理に適う順序立てであるのに、人は先に人爵を与えられるとあたかも自分は天爵も得たものと錯覚してしまい、それが態度や行動に出てしまうことが多い。これは本末転倒であるとの考えに基づき、一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しています。

3. JASTグループの特長

3-2. 完全独立系で広範な情報サービスと自社ブランド拡大

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスをご提供します

Sier
**ソフトウェア
事業**
ソフトウェアの
受託開発

・ **ビジネスアプリケーション**
各業界向けにシステムの提案から開発、運用、保守まで一貫したITサービス

・ **エンジニアリング
アプリケーション**

携帯電話やAV機器組込みシステム、CAD、構造解析、自動車設計、交通管制など通信・制御システム

・ **その他自社ブランドサービス（ソフトウェア事業）**

金融機関向けパッケージソリューション

地銀、信金、信組様向けCRM/SFAシステム「BankNeo」

BankNeo

**JAST
ブランド**
パッケージメーカー
GAKUEN
事業
大学経営ソフトウェア
パッケージ開発・販売

大学経営システムのトップブランド「GAKUEN」シリーズを中核とした、文教ITのトータルソリューション

BtoB販社
**システム販売
事業**
マルチベンダー
ITインフラの構築

文教・公共系マルチベンダーのITインフラ構築、大型サイネージ端末関連ソリューションなど、独自のサービス

医療BI
**医療
ビッグデータ
事業**
医療情報データの点検
分析及び関連サービス

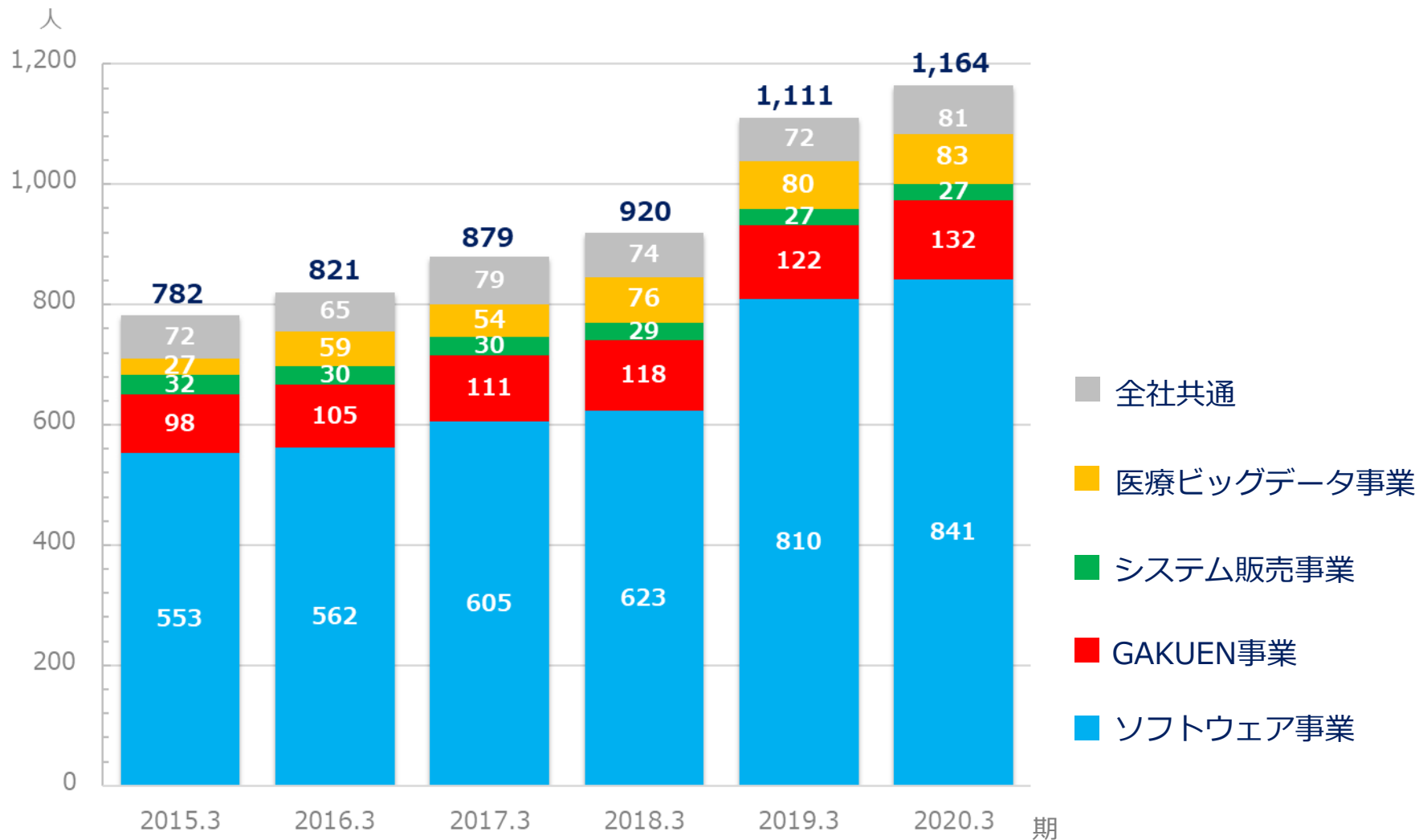
レセプト自動点検、ジェネリック通知、各種分析サービス、データヘルス計画、二次点検業者向けシステム提供など医療関連のビッグデータソリューション

AGHRM（人材資源開発ソリューション）

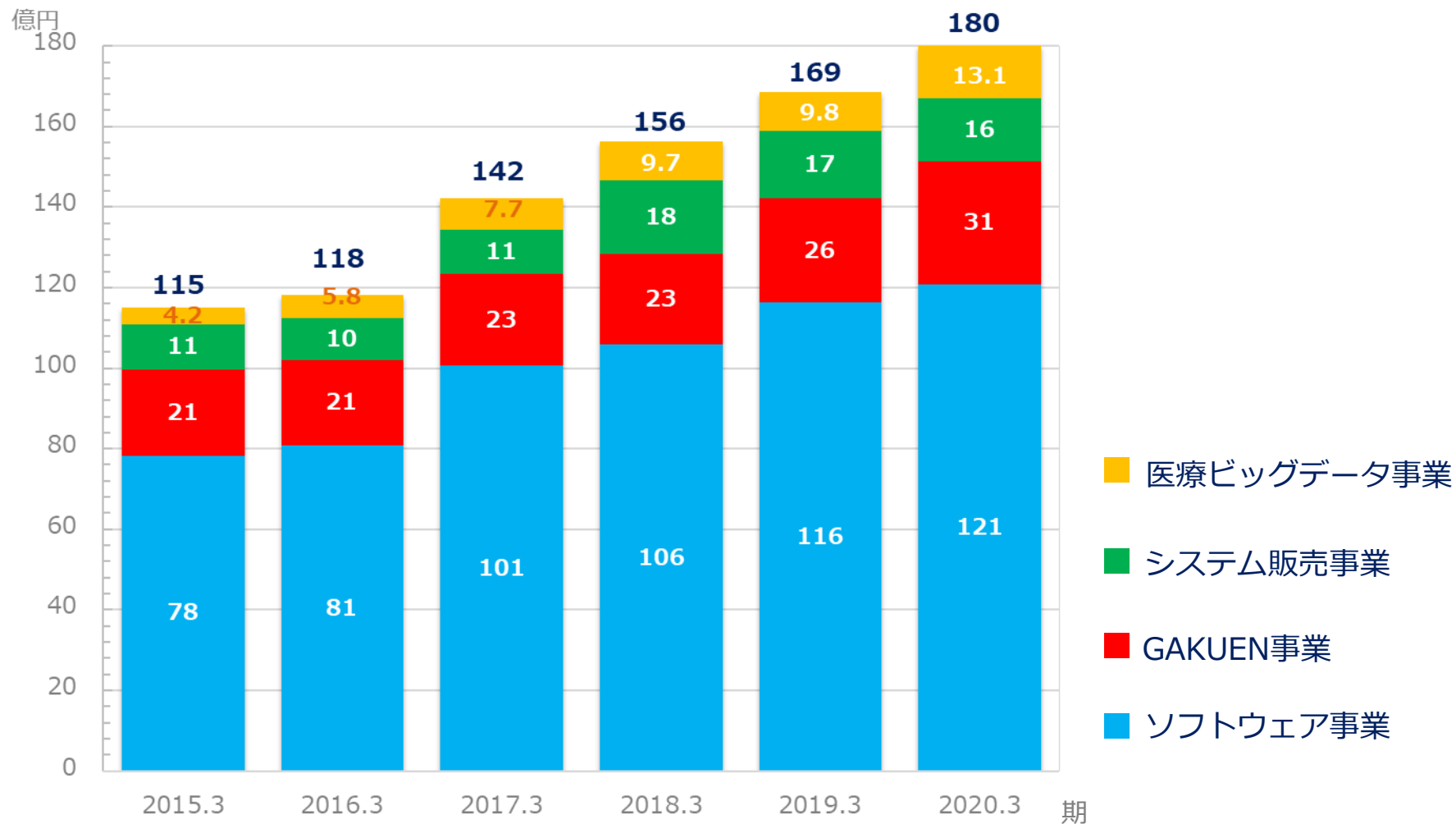
人事・労務管理・給与計算・人材マネジメントなど、人材管理の統合サービスを多国展開

AGHRM®

連結従業員数（期末）

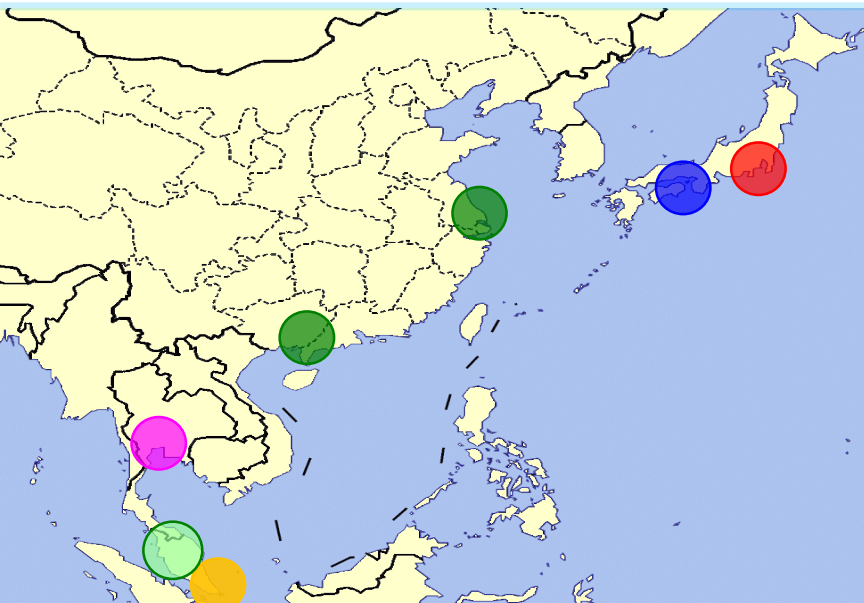


連結売上高



3. JASTグループの特長

3-4. グループ拠点及びグローバル展開



大阪本社

大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー28・29階



JAST TECHNIQUES PTE. LTD.

シンガポール ★現地日系企業向け開発



AG NET PTE.LTD.

シンガポール ★HRMS事業展開



JASTEC(THAILAND) CO., LTD.

タイ バンコク ★現地日系企業向け開発



JAST ASIA PACIFIC CO., LTD.

タイ バンコク ★ASEAN地域でのJASTブランド展開



桂林安信軟件有限公司

中国広西チワン族自治区桂林市 ★オフショア開発拠点
★中国国内拡販拠点



上海嘉峰信息科技有限公司

中国上海市 ★GAKUEN
中国販売拠点



東京本社

東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル5・26・27階



アルファコンピュータ株式会社

東京都品川区 ★マルチベンダ I T インフラ設計 (システム販売)



株式会社アイエスアール

東京都千代田区 ★受託開発、パッケージ開発・販売



株式会社新日本ニーズ

大阪市 ★地域密着型受託開発 (※2019.4.1 SafeNeeds(株)と合併)



Virtual Calibre グループ (3社)

マレーシア クアラルンプール近郊 ★SAP事業展開

導入実績

大学：302校
短大：88校
他：18校
合計：408校

県立広島大学(公)
山口県立大学(公)
島根県立大学(公)
広島経済大学
近畿大学工学部
比治山大学
岡山理科大学
ノートルダム清心女子大学

大阪教育大学(国)
大阪市立大学(公)
兵庫県立大学(公)
京都府立大学(公)
近畿大学
甲南大学
佛教大学
阪南大学
桃山学院教育大学
大手前大学
神戸女学院大学
大阪芸術大学
大阪音楽大学
大阪医科大学
大阪薬科大学

山形県立保健医療大学(公)
東北福祉大学
宮城学院女子大学
東北文化学園大学
東北芸術工科大学
日本大学工学部

福井大学(国)
新潟医療福祉大学
新潟薬科大学
北陸大学

北海道教育大学(国)
公立はこだて未来大学
酪農学園大学

東京理科大学
慶應義塾大学
東京電機大学
桜美林大学
日本大学薬学部
文教大学
玉川大学
日本女子大学
武蔵大学
日本体育大学
共立女子大学
フェリス学院大学
國學院大学
大妻女子大学
順天堂大学

香川県立保健医療大学(公)
聖カタリナ大学

福岡工業大学
中村学園大学
熊本学園大学

近畿大学産業理工学部
九州国際大学
日本文理大学

三重大学(国)
愛知県立大学(公)
名城大学
名古屋外国語大学

愛知教育大学(国)
静岡県立大学(公)
愛知大学
東海学園大学

導入実績400校突破

導入実績：2020年12月1日現在

JMICS JAST Medical Insurance Checking Service

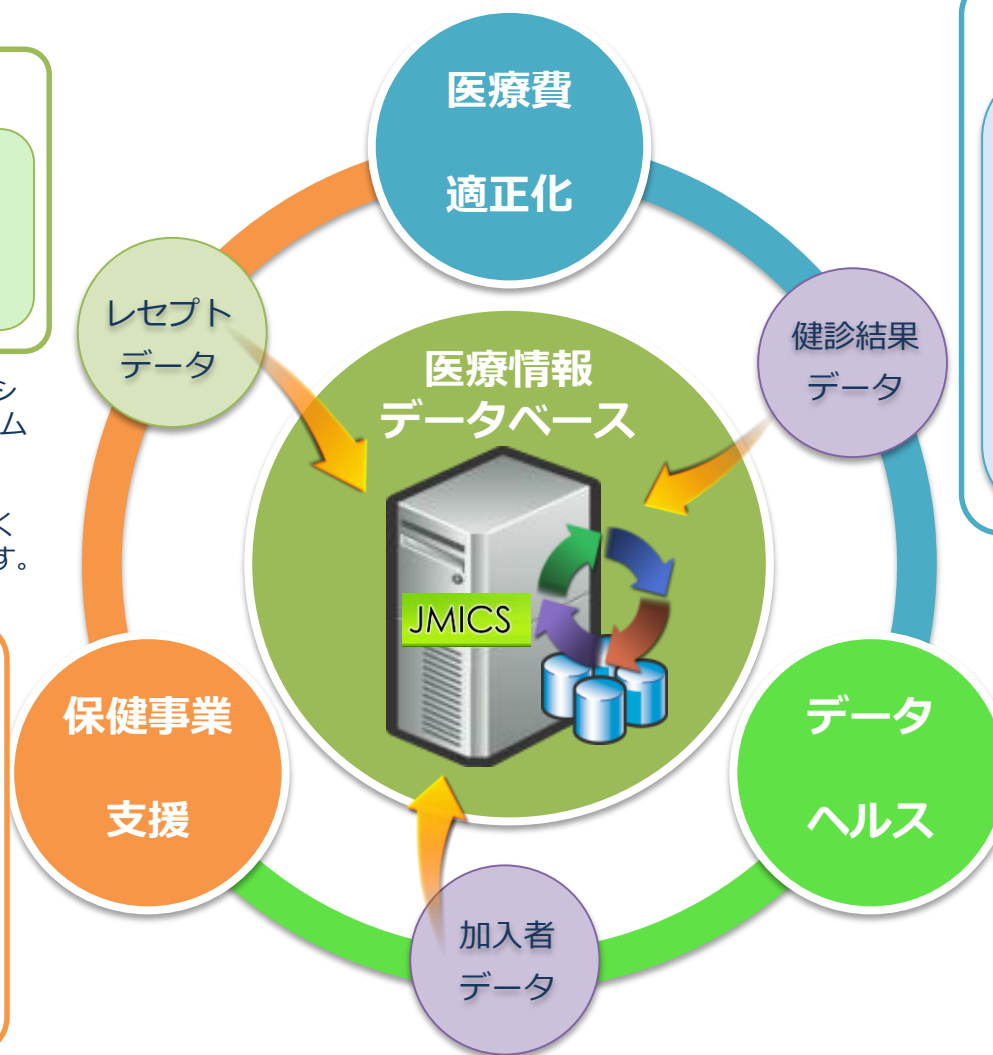
点検サービス

- ・レセプト内容点検
- ・アウトソーシング
- ・ユーザークラウド
- ・ビジネスクラウド
- ・海外療養費点検
- ・柔整点検

レセプト点検には、アウトソーシングの他に、JASTの点検システムを保険者様にてご利用いただく「ユーザークラウド」と、点検事業者様にてご利用いただく「ビジネスクラウド」があります。

医療費適正化サービス

- ・ジェネリック促進通知
- ・花粉症通知
- ・統合通知
- ・頻回、重複受診者対応
- ・第三者求償対象者対応
- ・時間外加算者対応
- ・医薬品重複投与者対応



保健事業支援サービス

- ・リスカルクン
(保険事業支援ツール)
- ・レセプト/健診データ分析
- ・ハイリスク者階層化分析
- ・保健事業の実施効果分析
- ・事業所別分析レポート
- ・健康白書
- ・加入者向け健康レポート
- ・受診勧奨通知
- ・保健師・管理栄養士による
各種保健指導、セミナー
健康教室の開催

保健事業支援ツールの提供、健康白書や事業所別分析レポート等の作成、医療費や健診データ分析、受診勧奨通知、保健師や管理栄養士による支援サービスなど、データヘルスにおけるPDCAサイクルを廻すための各種サービスの提供が可能です。

事務効率化サービス

- ・健診事務代行
- ・インフルエンザ補助WEB
申請システム
- ・WEB検認
- ・各種事務代行

長期安定成長の実現

人物重視

- * 新卒中心の採用と長期的な人材育成
- * 人材流動の激しい業界内で高い社員定着率

品質安定
低コスト体質

特徴的な営業戦術

- * ソフトウェア事業（受託開発）：
 - ・ S E自らリピート案件発掘
 - ・ 新規顧客は専門営業がソリューション提案
- * その他事業：
 - ・ 代理店、教育機関、官公庁、健保組合等
異種カスタマ層へのマーケティング展開
 - ・ 他社とのコラボ企画・共同提案

性格の異なる4事業の
共存共栄に成功

品質・信頼へのこだわり

- * 「一括丸投げ」は行わない、社員中心のプロジェクト編成
- * 請負った案件は満足頂くまでやり抜く、途中退場はしない

高いリピートオーダー率
大手顧客との長期取引

徹底したコスト管理

- * 間接部門を含む全活動をプロジェクト化し原価管理
- * コンパクトな本社間接部門

問題の早期発見による
不採算案件の最小化、
低コスト体質

4. 2021年3月期 第2四半期の業績分析

4－1. 連結業績の推移

4－5. キャッシュフローの推移

4－2. 事業セグメント別業績

4－6. 株価の推移と流動施策

4－3. カテゴリ別業績

4－7. 日経平均株価との相関

4－4. 貸借対照表の推移

4. 2021年3月期 第2四半期の業績分析

4 - 1. 連結業績の推移

単位：百万円

	2019年3月			2020年3月			2021年3月			前年比		
	上期	下期		上期	下期		上期	下期		上期	下期	
売上高	8,024	8,844	16,868	8,610	9,409	18,019	8,042		18,500	93.4%		102.7%
売上原価	6,319	6,709	13,028	6,696	6,911	13,607	6,267			93.6%		
	78.8%	75.9%	77.2%	77.8%	73.5%	75.5%	77.9%					
売上総利益	1,705	2,135	3,840	1,914	2,498	4,412	1,775			92.7%		
	21.2%	24.1%	22.8%	22.2%	26.5%	24.5%	22.1%					
販売費及び一般管理費	1,442	1,546	2,988	1,723	1,718	3,441	1,752			101.7%		
	18.0%	17.5%	17.7%	20.0%	18.3%	19.1%	21.8%					
研究開発費	231	261	492	173	269	442	195			112.7%		
営業利益	263	589	852	190	780	970	23		980	12.1%		101.0%
	3.3%	6.7%	5.1%	2.2%	8.3%	5.4%	0.3%		5.3%			
経常利益	280	586	866	202	819	1,021	58		1,025	28.7%		100.4%
	3.5%	6.6%	5.1%	2.3%	8.7%	5.7%	0.7%		5.5%			
当期純利益	175	142	317	▲ 552	522	-30	▲ 309		300	-		-
	2.2%	1.6%	1.9%	-6.4%	5.5%	-0.2%	-3.8%		1.6%			
包括利益	-	-	238	-	-	-119	-			-		

利益が下期に集中する傾向にあり、特に第4四半期（末）の業績貢献度が高い

4. 2021年3月期 第2四半期の業績分析

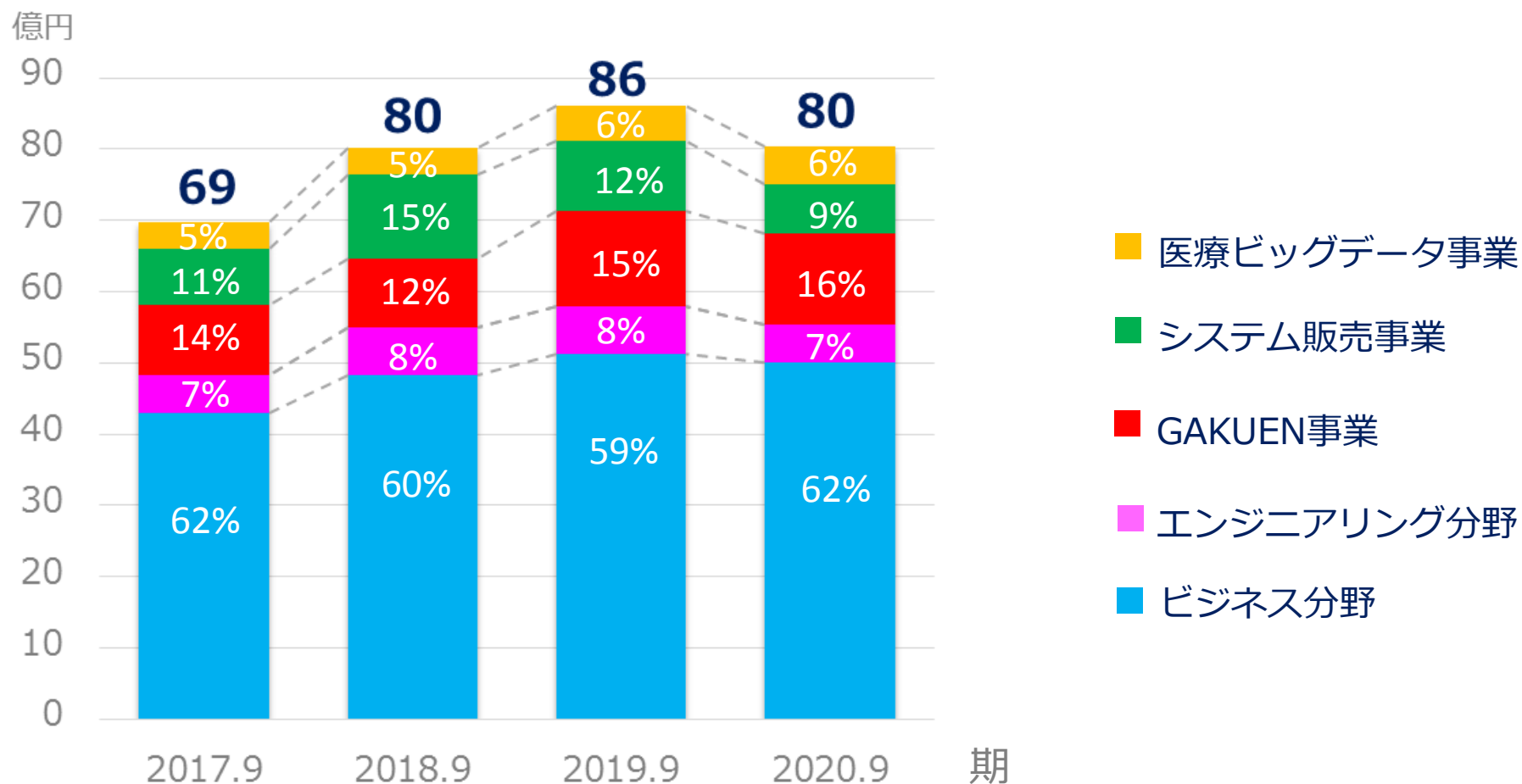
4-2. 事業セグメント別業績

単位：百万円

		2019年3月期 2Q累計実績	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	前年比	
		構成	構成	構成	差額	比率
JASTグループ	売上高	8,024	8,610	8,042	▲568	93.4%
	営業利益	263	190	23	▲167	12.1%
ソフトウェア事業	売上高	5,492 63.8%	5,786 71.9%	5,543 68.9%	▲243	95.8%
	営業利益	277	▲89	▲192	▲103	—
GAKUEN事業	売上高	969 11.3%	1,337 16.6%	1,266 15.7%	▲71	94.7%
	営業利益	-60	189	174	▲15	92.1%
システム販売事業	売上高	1,180 13.7%	994 12.4%	698 8.7%	▲296	70.2%
	営業利益	145	109	68	▲41	62.4%
医療ビッグデータ事業	売上高	382 4.4%	492 6.1%	534 6.6%	42	108.5%
	営業利益	▲103	▲23	▲36	▲13	—

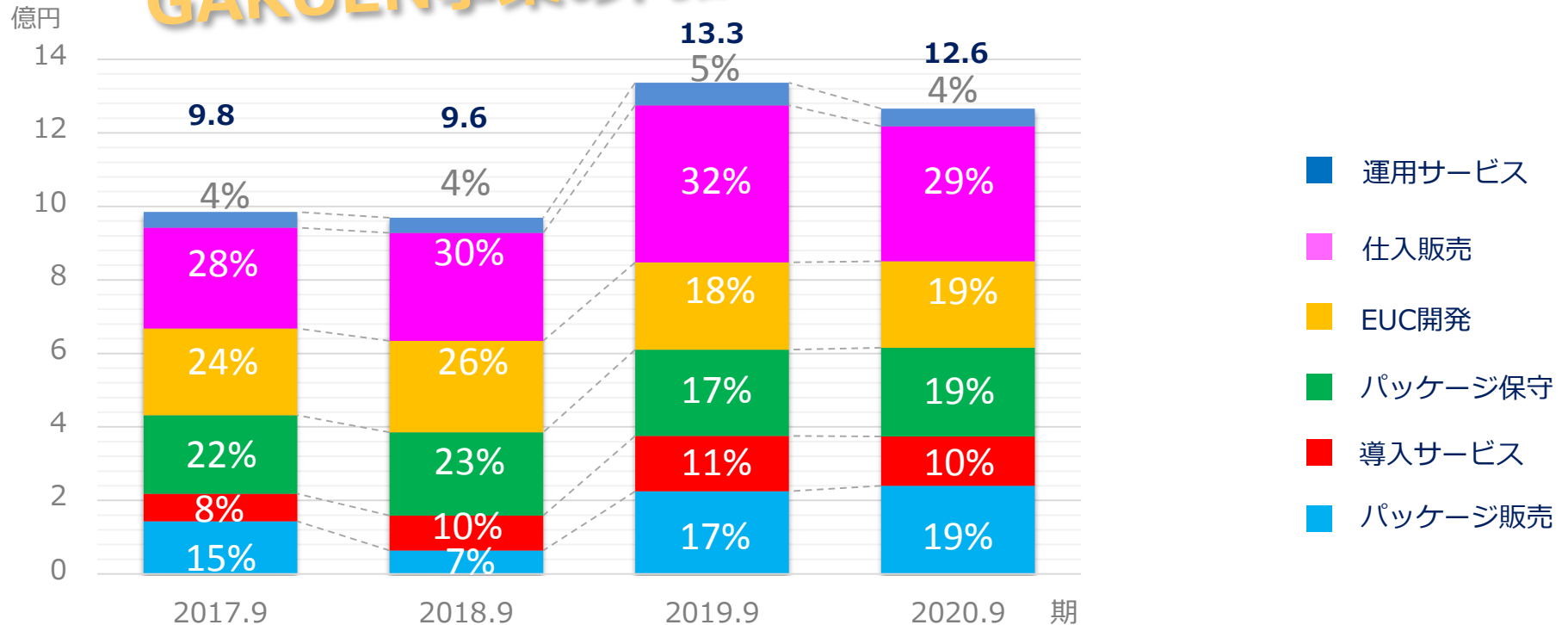
- ◆ソフトウェア事業 : 金融・保険・証券業向け案件等が好調の一方、サービス・流通業/製造業/通信業の軟調により減収
- ◆GAKUEN事業 : 大学向けPP（プログラムプロダクト）販売が前年を上回ったものの、仕入販売/導入支援等の前期大幅増収の反動により減収減益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件が前年を下回り減収減益
- ◆医療ビッグデータ事業 : 保険者向け支援サービスの好調により増収、一方、研究開発費のコスト増により損失幅が前年比で微増

事業セグメント別・分野別売上高



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

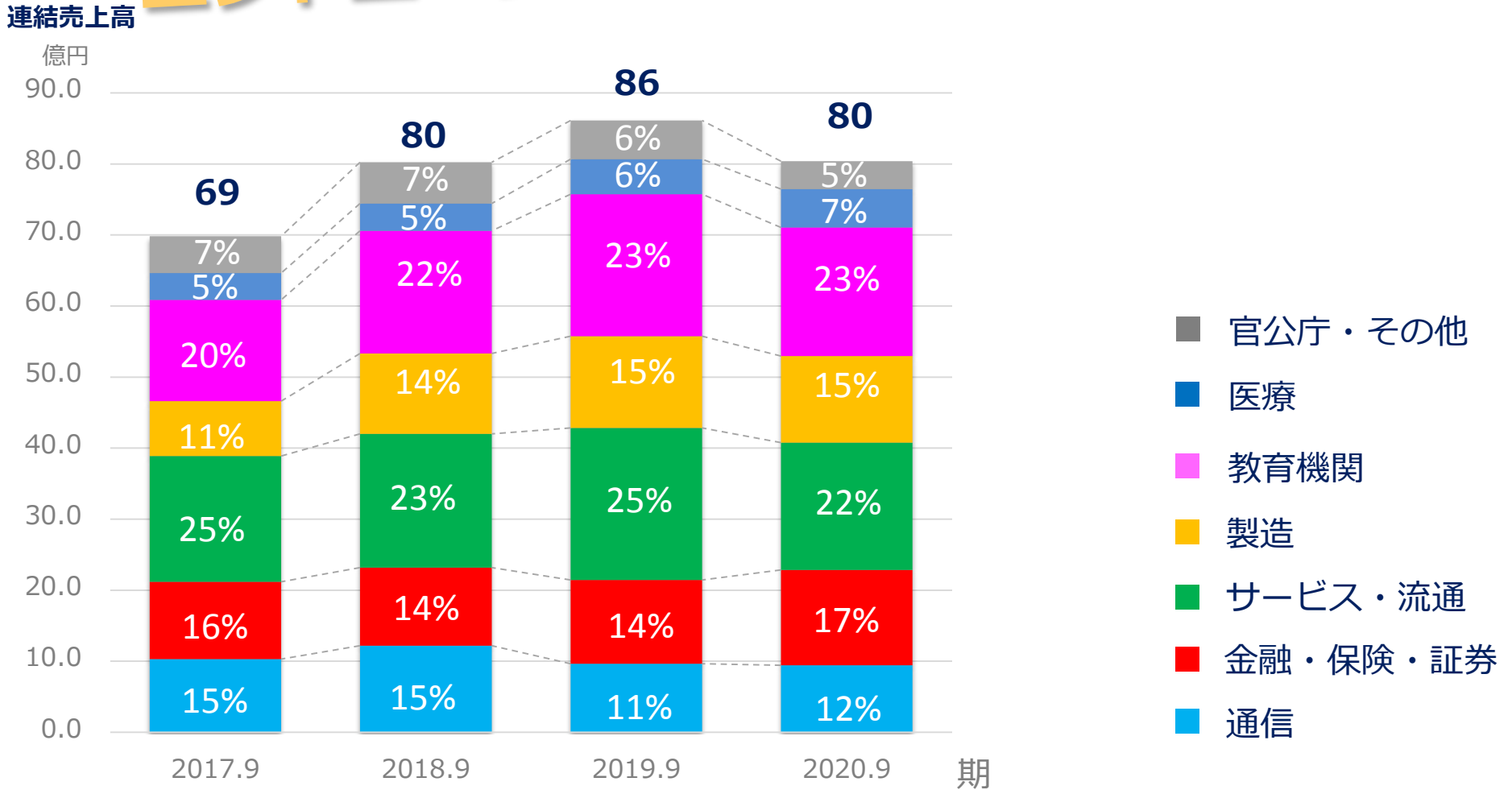
GAKUEN事業の内訳売上高



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

パッケージ販売	学校経営統合パッケージの販売収益
導入サービス	パッケージの導入支援サービス収益
パッケージ保守	パッケージの保守契約収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う関連システムの個別受託開発の収益
仕入販売	ハードウェア及び他社商品の仕入販売収益
運用サービス	システムの運用支援に関する収益

エンドユーザー業種別売上高



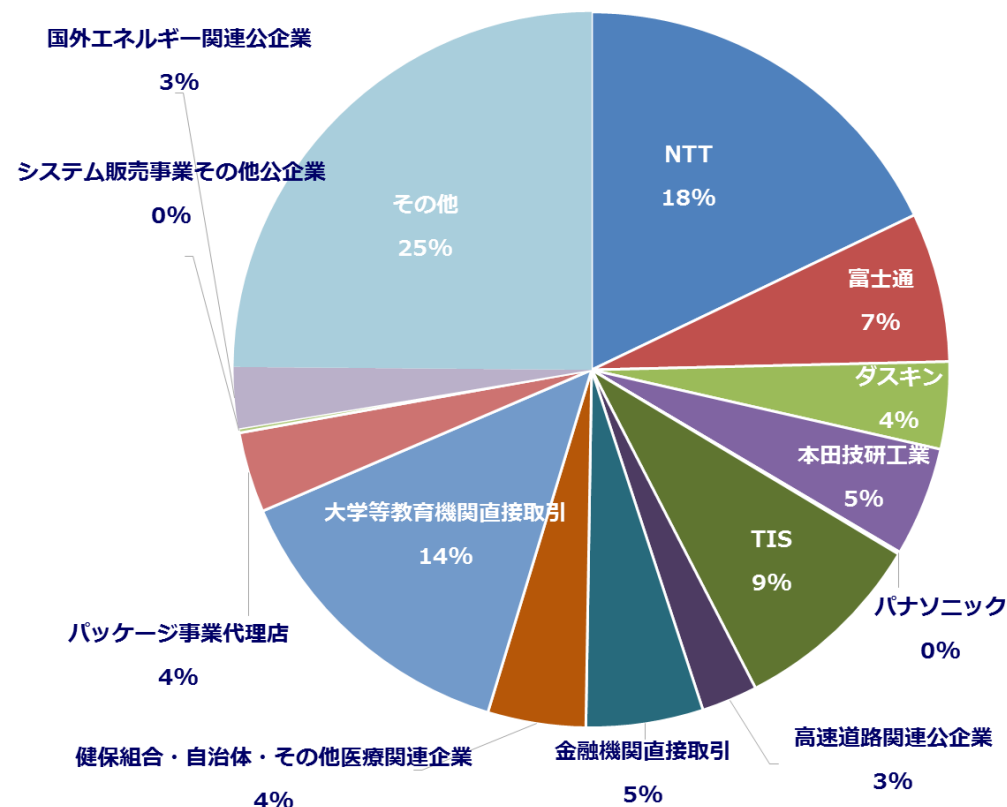
* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

4. 2021年3月期 第2四半期の業績分析

4-3. カテゴリ別業績④

顧客グループ別売上高

顧客	2019.9	2020.9
NTT(26年)	17.5%	17.9%
富士通(44年)	8.7%	6.8%
ダスキン(32年)	7.3%	3.9%
本田技研工業(37年)	5.2%	4.9%
IHI(39年)	0.0%	0.0%
パナソニック(39年)	0.1%	0.1%
上記6社	38.8%	33.6%
TIS	6.4%	8.8%
高速道路関連公企業	4.9%	2.5%
金融機関直接取引	3.9%	5.3%
健保組合・自治体・その他医療関連企業	3.8%	4.4%
大学等教育機関直接取引	15.2%	13.9%
パッケージ事業代理店	3.2%	3.6%
システム販売事業その他公企業	0.2%	0.2%
国外エネルギー関連公企業	2.8%	2.7%
その他	20.7%	24.9%
合計	100%	100%



(〇〇年) は取引年数を示す。

財政基盤は安定継続

単位：百万円

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2020年 9月期	前期末比	
					差額	比率
資産	12,308	13,636	12,988	12,250	▲738	94.3%
流動資産	9,440	9,610	9,602	9,207	▲395	95.9%
有形固定資産	523	558	571	565	▲6	98.9%
無形固定資産	124	1,180	794	396	▲398	49.9%
投資その他の資産	2,220	2,287	2,019	2,081	62	103.1%
負債純資産合計	12,308	13,636	12,988	12,250	▲738	94.3%
負債	6,062	7,218	6,770	6,442	▲328	95.2%
流動負債	4,564	5,587	5,168	4,858	▲310	94.0%
固定負債	1,498	1,630	1,601	1,583	▲18	98.9%
純資産	6,246	6,418	6,218	5,808	▲410	93.4%
株主資本	5,992	6,244	6,135	5,674	▲461	92.5%
資本金	1,076	1,076	1,076	1,076	0	100.0%
資本剰余金	994	1,085	1,113	1,113	0	100.0%
利益剰余金	4,188	4,359	4,178	3,717	▲461	89.0%
自己株式	▲266	▲277	▲233	▲233	0	99.9%
その他の包括利益累計額	207	136	53	99	46	186.8%
新株予約権	—	—	—	—	—	—
非支配株主持分	45	37	28	34	6	121.4%

単位：百万円

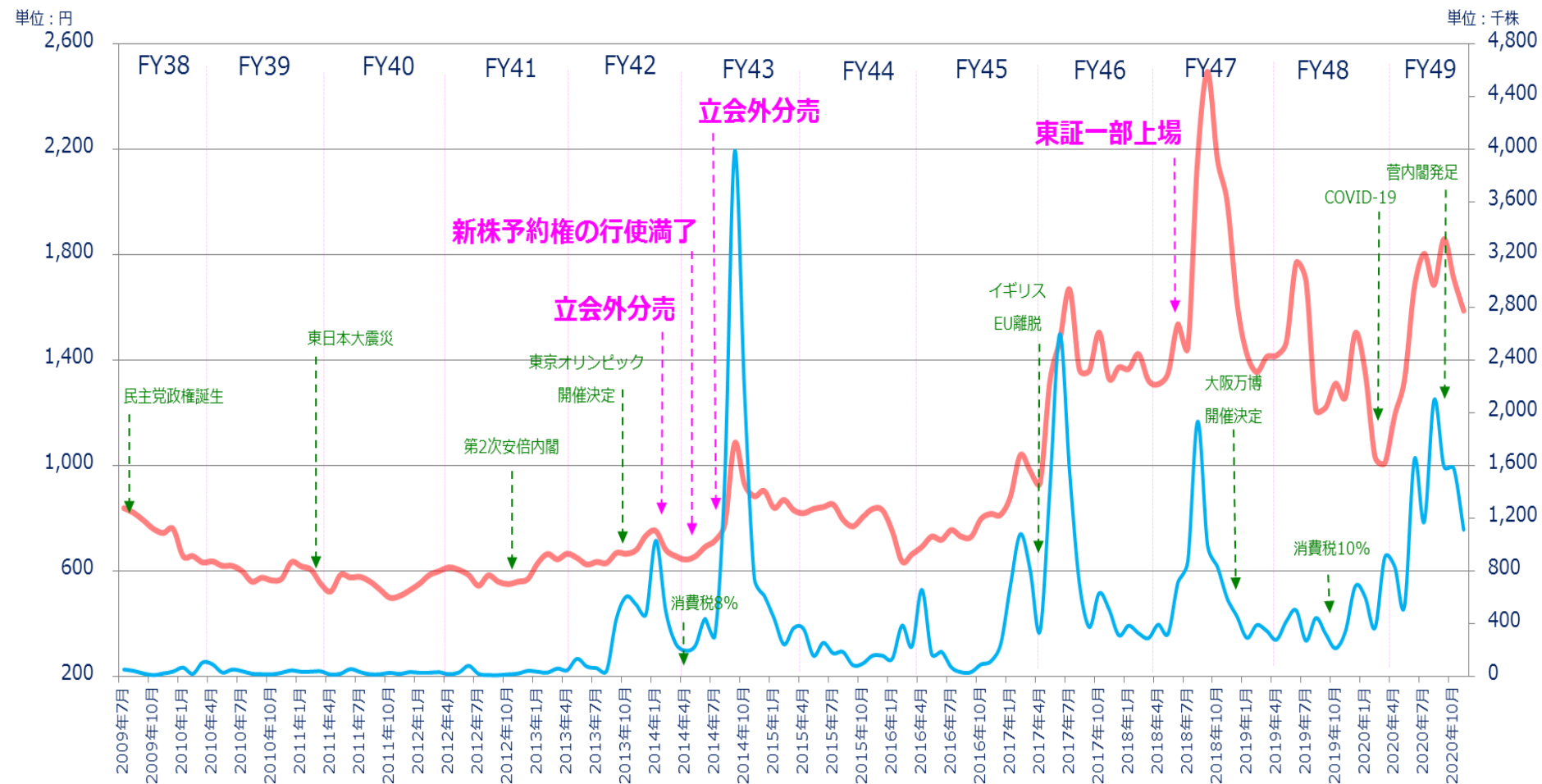
	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2020年 9月期	2020年 3月期比 増減
営業キャッシュ・フロー	▲12	132	642	1,342	417	1,271	+854
投資キャッシュ・フロー	119	494	147	▲1,063	▲527	▲66	+461
財務キャッシュ・フロー	▲216	▲122	38	1,157	185	▲552	▲737
現金及び現金同等物の期末残高	1,447	1,951	2,785	4,204	3,908	4,526	+618

4. 2021年3月期 第2四半期の業績分析

4 - 7. 株価の推移と流動対策

— JAST株価(左目盛)

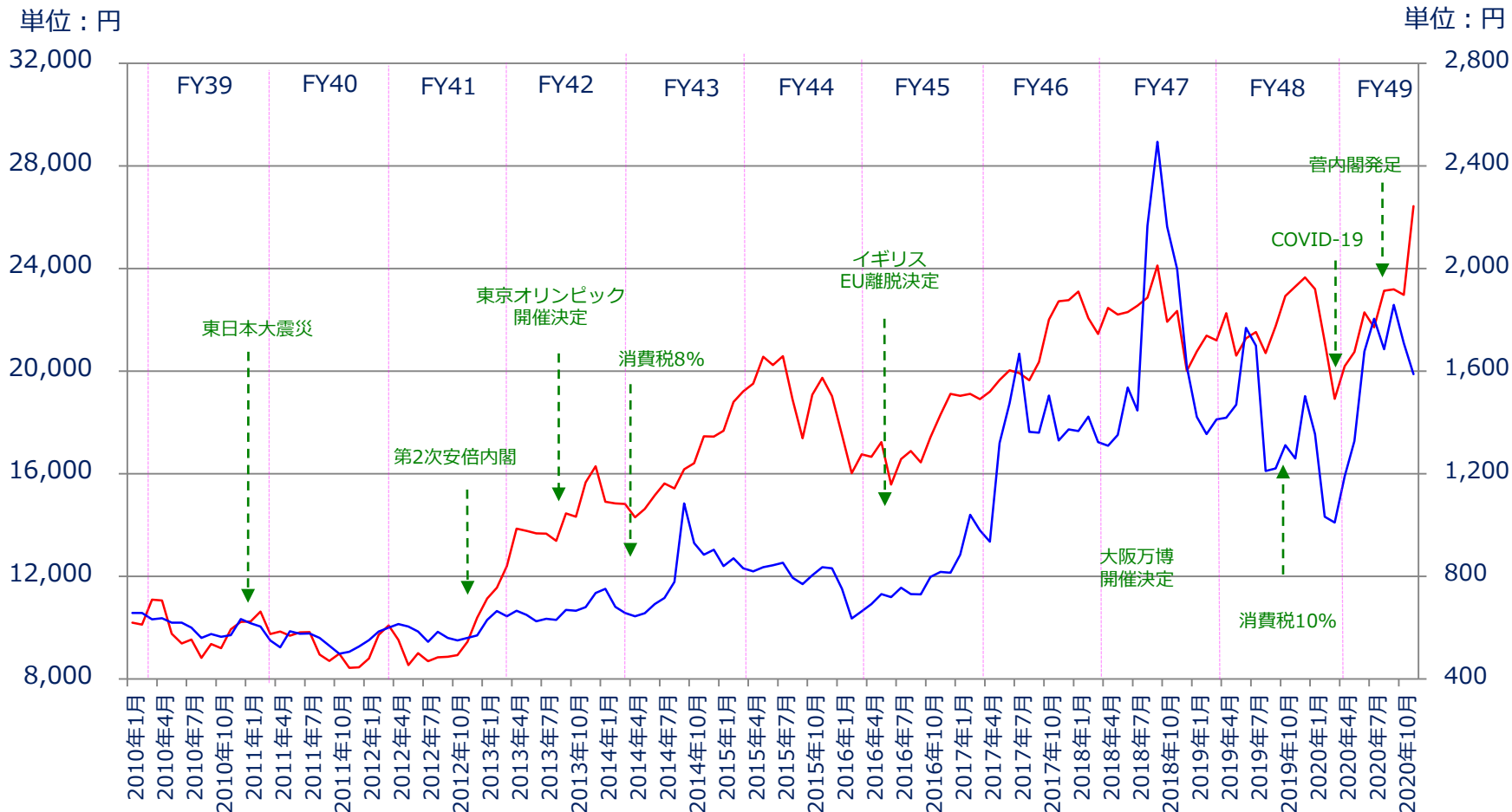
— JAST出来高(右目盛)



4. 2021年3月期 第2四半期の業績分析

4 - 7. 日経平均株価との相関

— 日経平均株価(左目盛) — JAST株価(右目盛)



株価 1,588円

EPS 55.95

PBR 1.47

PER 28.38

2020年11月30日終値

5. 今後の計画・方針

5－1．2021年3月期スローガン

5－9．中期事業構想

5－2．事業方針

5－10．GAKUEN

5－3．業績予想

5－11．医療ビッグデータ事業

5－4．業績達成のフィジビリティ分析

5－12．BankNeo

5－5．COVID-19の影響を含む
アウトルック

5－13．ASEAN展開

5－6．受注残高と売上高の推移

5－14．グループ成長戦略,グローバル化

5－7．研究開発計画

5－15．新領域への適応とアライアンス
ターゲット

5－8．資本関連方針

「変革とスピードで
未来のJASTを創造しよう」

Japan System Techniques Co., Ltd.

★当初テーマ

項目	方針
SI	DX推進、サービスビジネス化等、構造改革
JASTブランド	個別アイテム毎にトップを目指す
成長戦略	アライアンス、グローバル化継続展開
R&D	製品開発と新ビジネスシーズ創出の二本立て

+

★追加テーマ

After/With COVID-19社会における適応と成長戦略

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	前年比
売上高 (百万円)	16,869	18,020	18,500	102.7%
営業利益 (百万円)	856 5.1%	971 5.4%	980 5.3%	100.9%
経常利益 (百万円)	870 5.2%	1,022 5.7%	1,025 5.5%	100.3%
当期純利益 (百万円)	318 1.9%	▲ 31 -0.2%	300 1.6%	－
一株当たり当期純利益 (円)	60.58	▲ 5.76	55.95	－

* 全額の右の%数値は各々の利益率を表します。

5. 今後の計画・方針

5-4. 業績達成のフィジビリティ分析




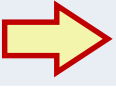


単位：百万円

	2019年3月期 下期実績	2020年3月期 下期実績	2021年3月期 (通期予想-2Q累計)	前年比	
				金額	比率
売上高	8,844	9,408	10,457	+1,049	+11%
営業利益	593 6.7%	780 8.3%	956 9.1%	+176	+23%
経常利益	590 6.7%	818 8.7%	966 9.2%	+148	+18%
当期純利益	142 1.6%	522 5.5%	609 5.8%	+87	+17%

%数値は対売上高比率



項目	金額〔億円〕
〔A〕ソフトウェア事業の拡大と収益性向上	約 +3.0
〔B〕GAKUEN事業の増益	約 +0.4
〔C〕システム販売事業の増益	約 +0.9
〔D〕その他販管費等	約 ▲2.8

事業	COVID-19の影響考慮前の 基調（矢印は利益方向性）	COVID-19の影響アウトルック （2020.6.12時点）	COVID-19の影響アウトルック （現在）
ソフトウェア	昨年度の不採算と 低迷子会社立て直し 	業種別案件毎の影響 ・サービス・流通：なし～一部大 ・金融、通信：なし～小 ・製造：影響なし～一部中 ・他（官公庁、教育等）：なし～小	分野毎に多少変動あるも トータルでは6月時と同基調
GAKUEN	絶好調翌年度にて 	案件により影響なし～小、 一部需要増	6月時点と同基調
システム販売	昨年度の谷間脱す 	案件により影響なし～小、 一部需要増	6月時点と同基調
医療BD	絶好調翌年度にて 	案件により影響なし～小、 一部需要増	6月時点と同基調
全体	増収増益基調継続 	 ～  の範囲、影響精査中	微増ながら増収増益

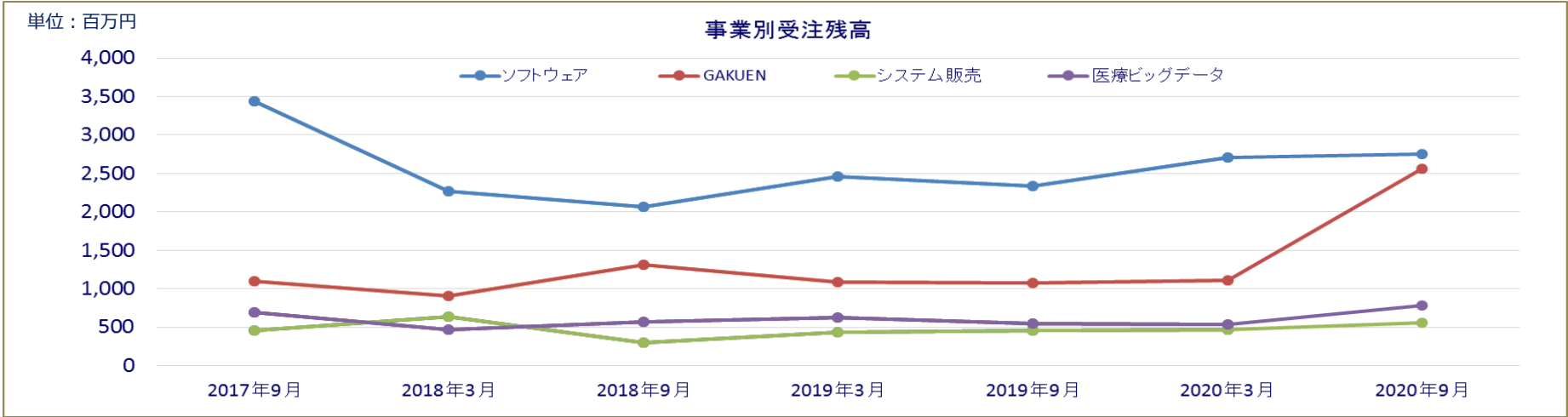
★基本認識

強み

- 営業・開発含め、在宅やリモートでの事業継続が容易なビジネスモデル
- 影響軽微な顧客・業種に展開（金融、通信、文教、健保、自治体等）
- 調達サプライチェーンに係る心配がほぼない。パートナー様確保には一部追い風脅威
- △直近の感染急拡大が長期化すれば次年度以降の受注含め影響も拡大、長期化
- △M&A等、有望なアライアンス機会逸失の可能性

5. 今後の計画・方針

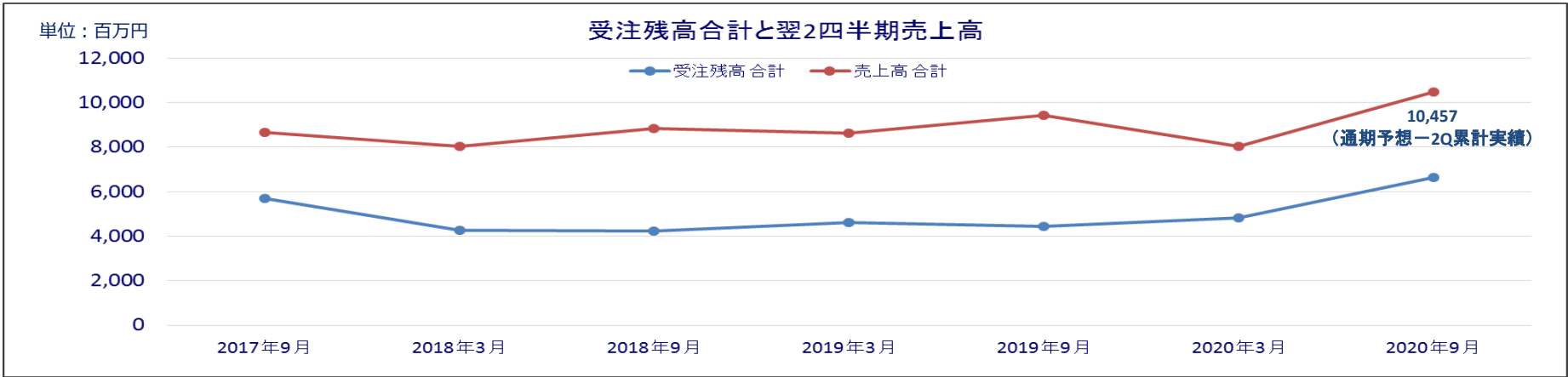
5－6. 受注残高と売上高の推移



事業別受注残高




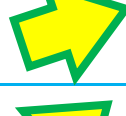

単位：百万円

事業/期	2017年9月	2018年3月	2018年9月	2019年3月	2019年9月	2020年3月	2020年9月
ソフトウェア	3,437	2,264	2,066	2,455	2,336	2,706	2,749
GAKUEN	1,095	909	1,308	1,084	1,079	1,109	2,559
システム販売	458	630	302	435	457	472	556
医療ビッグデータ	688	468	563	619	549	532	782
受注残高 合計	5,680	4,271	4,239	4,595	4,423	4,819	6,646



昨年度比：総額減少、テーマ数増、内容は濃厚。次の収益源を構築する。

単位：百万円

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
研究開発費の合計	332	458	492	442	
ソフトウェア事業	0	64	54	112	
GAKUEN事業	286	274	332	245	
医療ビッグデータ事業	45	98	65	45	
その他	0	20	39	38	

矢印の角度は増加率イメージ

BankNeo
次世代製品、機能強化

その他ソフトウェア
メガソリューション拡大、
SI派生新商材

GAKUEN
RX新製品・アプリ

JMICS
AI・統計機能強化、サービ
ス拡大

基礎研究・新商材
AI、生体認証、自然言語、
最新技術研究

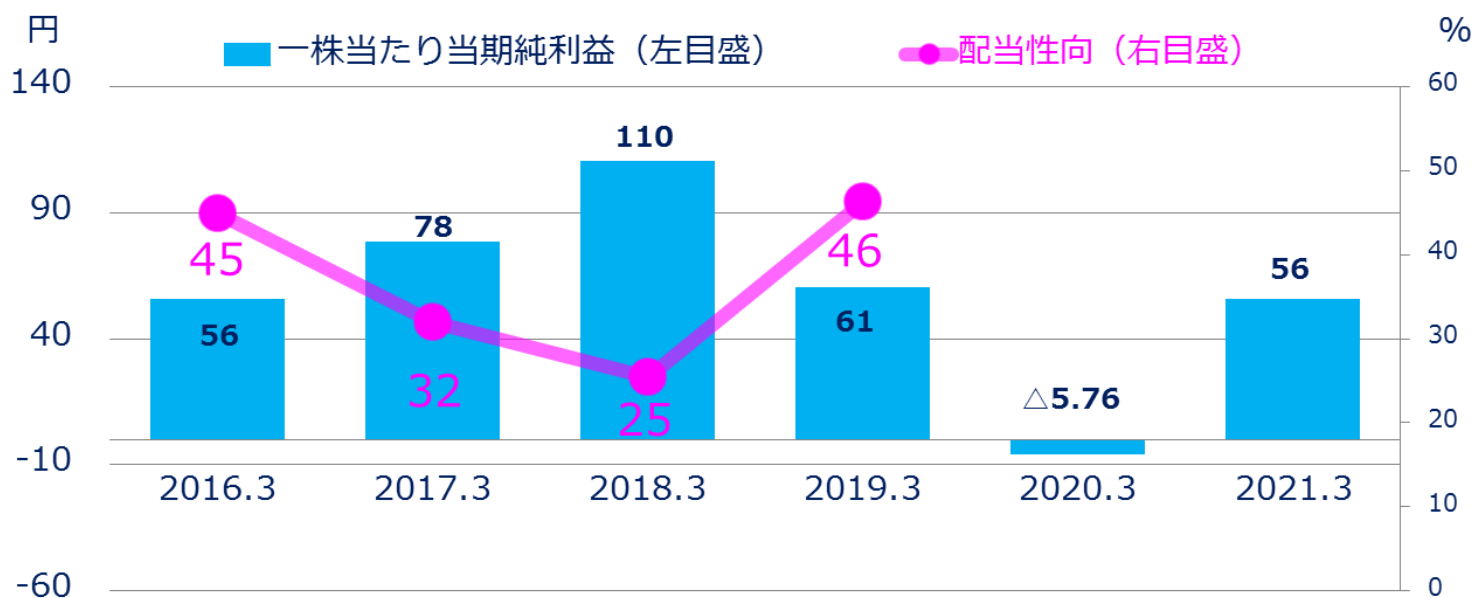
5. 今後の計画・方針

5－8. 資本関連方針

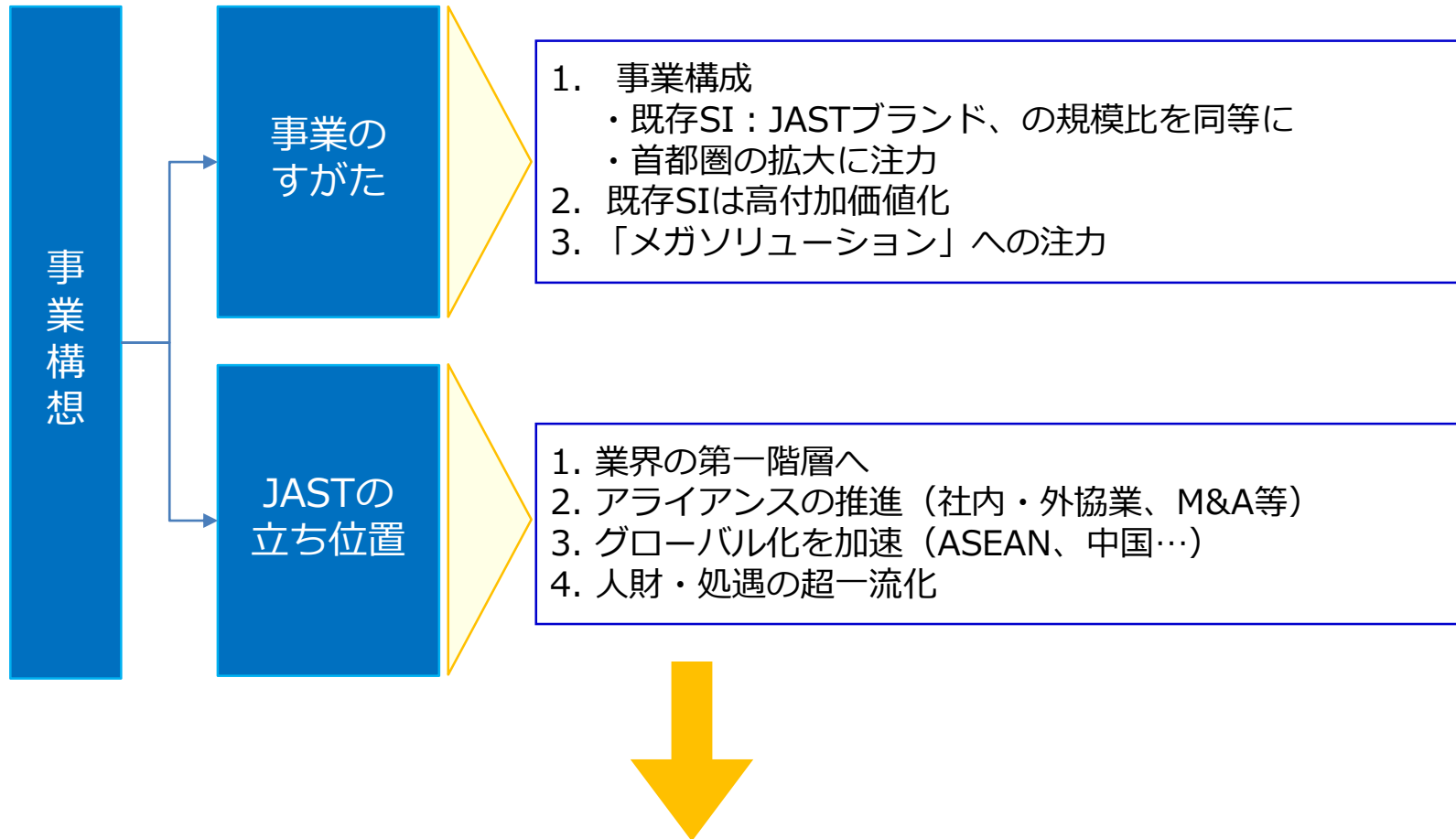
		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期 (予定)
1株配当金	円	28	28	28	28
期末配当利回り	%	2.1	2.0	2.8	－
期末株主数	人	2,584	2,586	2,636	－
期末時価総額	百万円	7,424	7,924	5,668	－

* 3月期の数値はそれぞれ通期の業績数値を表します。

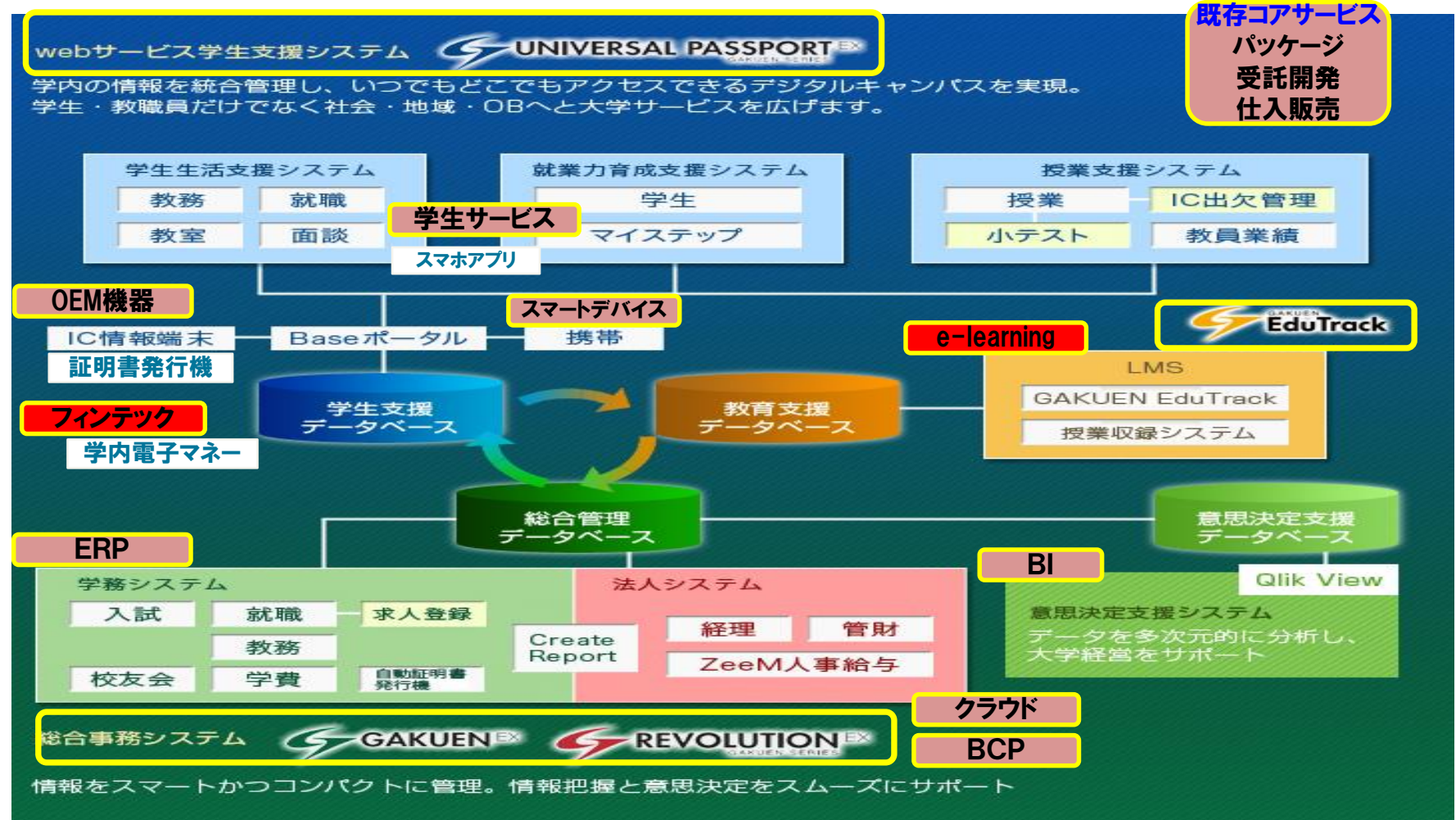
* 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



現行の下記中期構想（一部達成済み）を進行期中にローリング



★現行サービス図

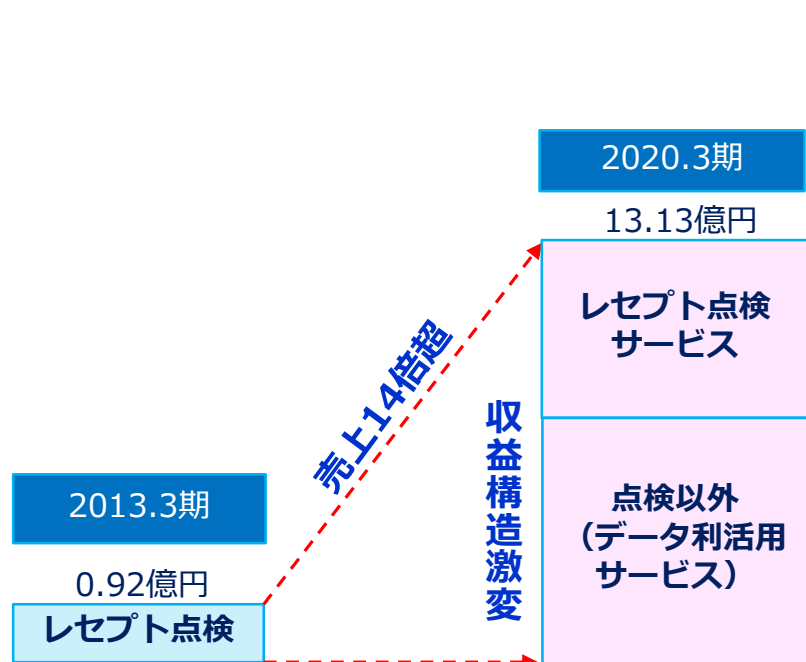


- ★戦略
- ★RX新製品の追加PPリリース
 - ★COVID-19適応商材（eラーニング等）
 - ★AI、生体認証等のテクノロジー適用拡大で高付加価値化

➡ 常に先を行く戦術展開で
文教ITの圧倒的リーダーとなる

★現状：

- ◆月間レセプト処理数約800～1,000万枚/総契約先数約360
- ◆レセプト点検→ビッグデータとICTの融合による医療情報サービスに進化



★点検サービスの拡大

- ◆データ持ち出し不可保険者の点検市場開拓、ビジネスクラウド拡大
→“総取り”可能な環境構築（“In”の拡大）
- ◆点検プロセスの自動化推進（“Out”の拡大）

★利活用サービスの進化（“Out”の拡大・先鋭化）

- ◆新領域拡大：医療費適正化、データヘルス、API連携強化
- ◆基礎研究：アカデミア等連携によるシーズ創出、医療商材開発
- ◆機械学習、高度統計アプローチによるサービスのハイエンド化
- ◆COVID-19：研究への参画、商材開発

★In、Out両面の拡大・進化でNo.1 and Only 1のビジネスとなる

★現状

- ◆導入実績48行、商談中20行以上
- ◆新製品「預り管理」が好評

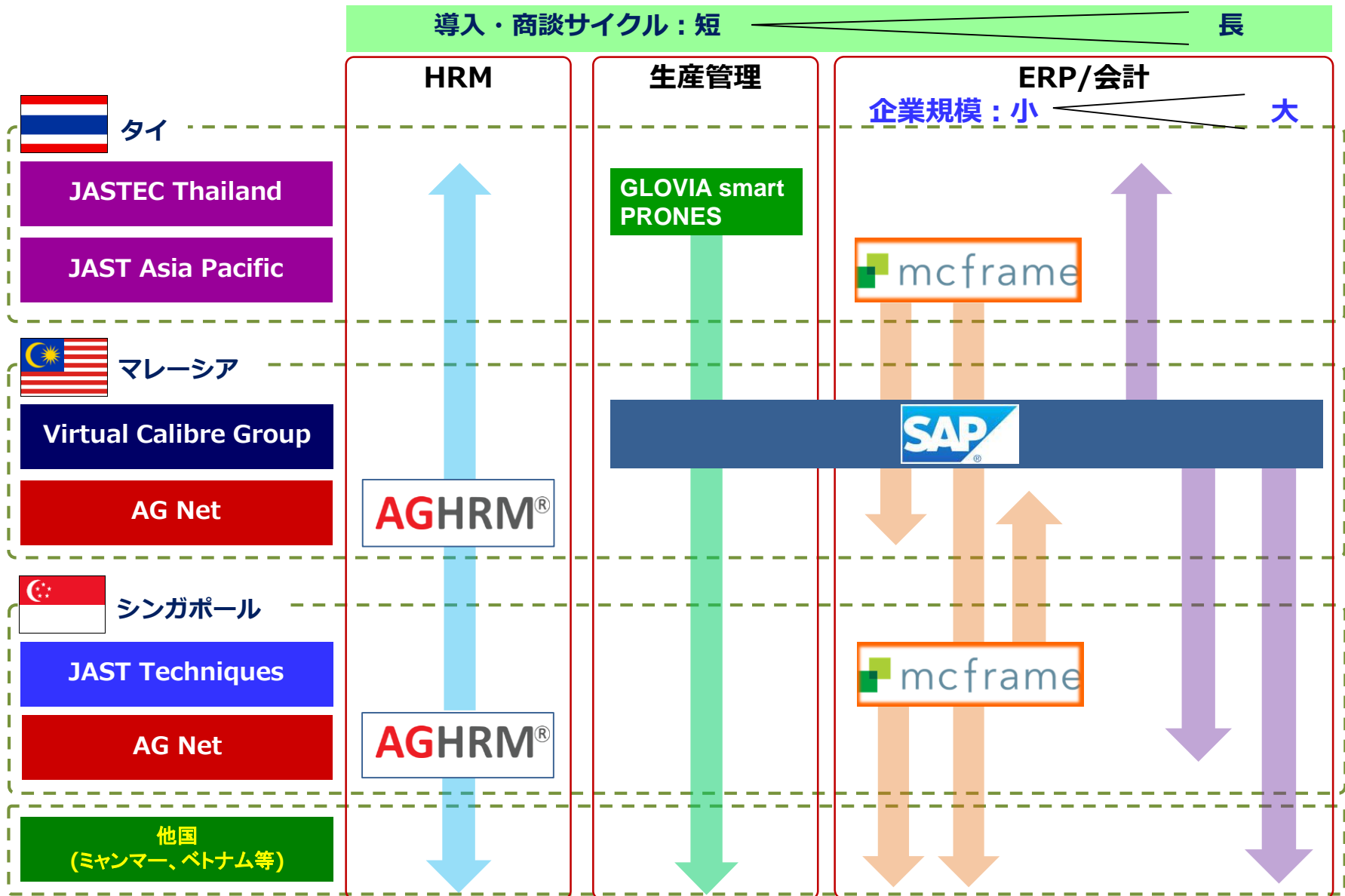


★戦略

- ◆預り管理の商材特性を活かした更なる拡大で市場席卷
 - ・メガサイズから小規模機関まで規模を問わずフィットする商材特性
 - ・New Normalに適合する商材コンセプト
- ◆マーケットに応じた“ライト”、“ニッチ”、“クラウド”商材戦術

5. 今後の計画・方針

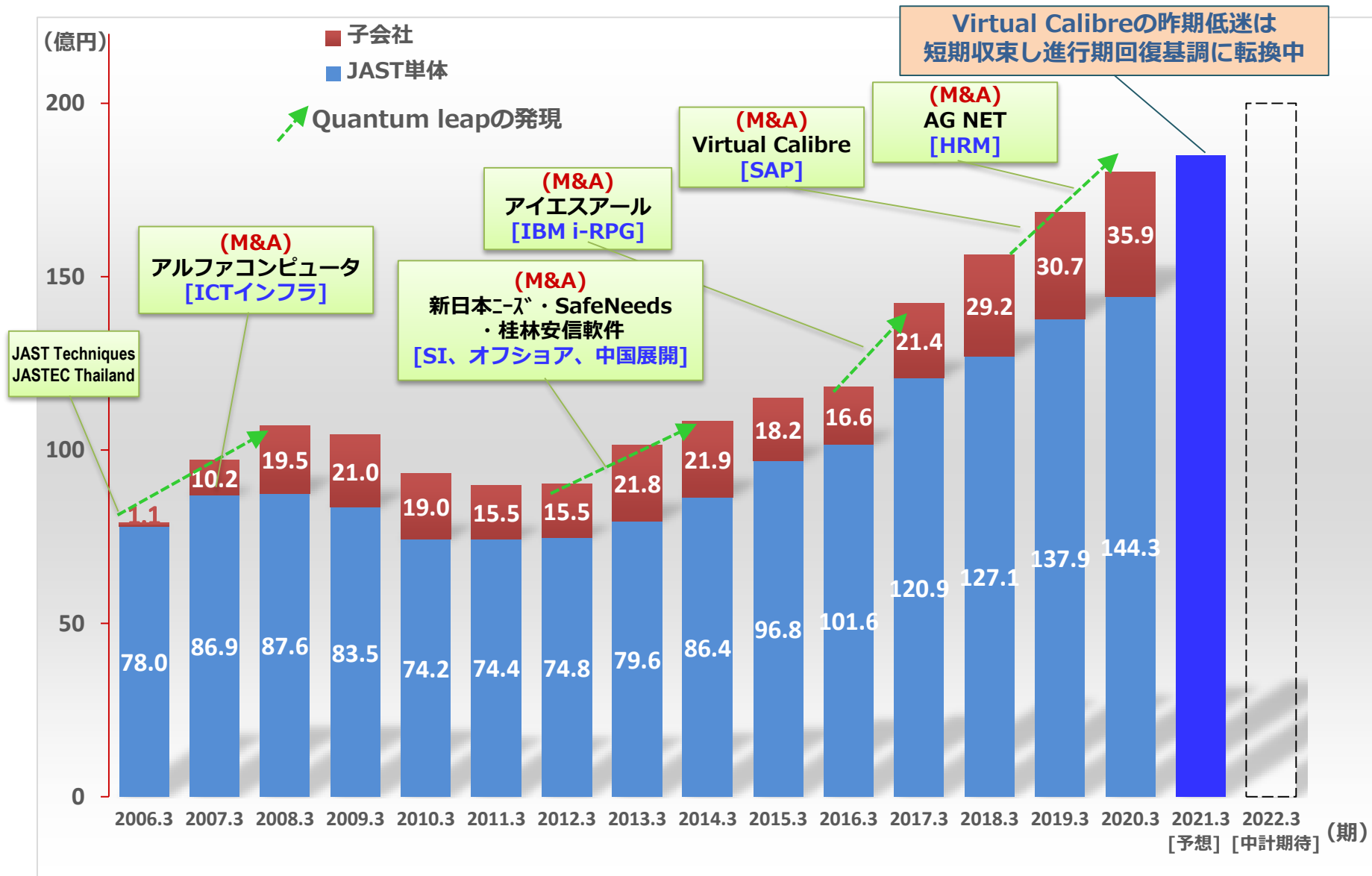
5-13. ASEAN展開



記載されている製品名などは、各社の商標または登録商標です。

5. 今後の計画・方針

5-14. グループ成長戦略、グローバル化（売上推移）



5. 今後の計画・方針

5-15. 新領域への適応とアライアンスターゲット

	ビッグデータ、 データサイエンス	AFTER/WITH 社会、DX	フィンテック	AI、生体認証、 VR	クラウド
ソフトウェア 事業	✓ データサイエンス案件の拡大	タレントマネジメント「mieHR」 ECサイト構築支援	オフィス・キャッシュレス決済	✓ SI開発での適用・拡大 関連自社商材開発	✓ SI開発での拡大 ✓ SAP、 AGHRM (ASEAN拡販)
GAKUEN 事業	✓ 大学経営意思決定支援（BI） ✓ IR	✓ e-ラーニングシステム「EduTrack」 ✓ UNIPAアプリ	✓ 学内電子マネー「UNIPA Pay」 決裁機能の拡大	✓ パッケージ機能AI化 パッケージへの追加適用	✓ GAKUENサブスクリプション
医療ビッグ データ事業	✓ 月間レプト処理数拡大 ✓ データ利活用サービス拡大	✓ Webサービス「iBss」 ✓ 重症化予想モデル B to B to C商材		✓ アカデミア連携 ✓ AI健康経営支援 レプト処理のAI化	✓ クラウド版レセプト点検
BankNeo (ソフトウェア事業)	✓ 「BankNeo for CRM/SFA」	✓ 預り管理 Simple & Light な製品発信		パッケージ機能への適用	✓ BankNeoクラウド
システム販売 事業	✓ 各種分析サービス	✓ モバイルデバイス対応			✓ データセンタークラウド ✓ セキュリティクラウド

凡例： ✓ 現業領域と施策

JASTブランド

計画・開発中領域

不易流行

本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造していくこと

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。